_{令和03年度} 事務事業マネジメントシート

部 長 課 長 係 長 担当者

事	事務事業名 観光でにぎわう魅力づくり事業							担	担当課産業部商工観光課						
政	政	策	3	地域の	魅力	が光	軍くる	まちづくり	担	担当係 観光物産係					
策体	施	策	3	集客資	集客資源の創出と充実						期間	H18		~	
系	基本	事業	3業 1 地域資源を活かした魅力の向上						事業	市单	単独事	業・国県補助]事業	市	単独事業
	マ体シロ			会計 款 項 目 大事業		大事業	区分	実力	施形態			全	部委託		
	予算科目		_	般会計	7	1	4	観光物産振興事業費							

【PLAN(計画)】

目指	最	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の を市内へ引き込む	の多彩な地域資	源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費								
指すべき	終	基本事業 の目的	豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引きした本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進します。										
0 状態・アウ		①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	②意図 (どのように なることを目 指すか)										
ソトカム	初期		15 / 16 / 16 / 16 / 16 / 16 / 16 / 16 /										

	区	分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数值区分		30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
1	指 アウトプット指標 観		観光入込客数	1	目標値	750, 000	750, 000	2, 220, 000	1, 997, 000	2, 000, 000	2, 017, 000
11	1 7 7 1.	ンフ I- 7日1未	既几八匹合奴	_ ^	実績値	662, 370	2, 231, 986	1, 943, 314	1, 707, 811	1, 840, 557	
1	5 70.	プ L +ビ+=	イベント参加数(PRの場)		目標値	25	30	32	32	18	18
17	標 アウトブット指標 イ		1 ハント参加数(PRの場)		実績値	29	32	31	18	10	
					目標値						
					実績値						

【DO (実施)

事 観光客受入れ体制の強化を目的に、観光案内所及び観光ポータルサイト「だてめがね」の開設・運営を行う。ま業 た、観光誘客を促進していくために、地域資源を活用したイベントの開催や首都圏や仙台圏を中心に特産品のP活 概 Rなどを行う。 動 要

令和03年度実績(実施した主な活動)

①観光誘客推進 … 観光案内所及びレンタサイクル貸出管理、ポータルサイトの運営、周遊手帳 ②歴史観光プロモーション … 歴史観光ガイドブック「伊達800年ものがたり」の一部修正版増刷

③地域資源活用 … 霊山新緑まつり、紅葉まつり、霊山フォトコンテスト開催

│☆│④特産品・6次化商品等プロモーション ・・・ 福島フェスタPRブース等への出展など

母生士人母」と 東京10万 k U - 母生士の知り帰去に即

動 ⑥梁川オープンスペースの維持管理 ··· 梁川総合支所庁舎2階の「やなピア」を運営管理、観光ガイド等の実施

【現状把握】

ア

ゥ

	事務事業を開始した理由		たイベンドによる地域活性化、産品開 圣済活性化や交流人口の拡大を図るっ
珥目	根拠法令・要綱等	関連する個別計画	

状・インプ 事務事業の現状 (「対象」など事 業開始からの変化) 平成30年3月に道の駅がオープンして以降、市内観光入込客が大幅に増加した。

令和2年度は全国的なコロナ禍の影響で、大型連休時期に道の駅などの市内観光拠点施設が臨時休館、通年で地域イベントが中止を余儀なくされたため、観光入込客数が減少した。 令和3年4月には相馬福島道路全面開通となるため、今後は道の駅から市内への誘客を図る必要がある。

			•	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
ן דו				単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金	千円	0		0	0	0	4, 250
₌	事	源	都道府県支出金	千円	0		0	0	0	0
	業	内	地方債	千円	0		0	0	0	0
	費	ŧ₽.	その他	千円	0		0	0	0	240
1 5	見	76	一般財源	千円	20, 789	24, 681	24, 083	18, 625	26, 719	47, 148
			事業費計	千円	20, 789	24, 681	24, 083	18, 625	26, 719	51, 638

事務事業	2270	事務事業	毎米でにぎわう魅力づくり 事 業	所属	在 坐 部商工観光理
ID	2219	名	観光でにさわっ魅力つくり事業	課	性未 即問工

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	市が出資する法人と連携し、本市の地域資源や観光資源を活かした観光誘客の取り組みを進めている。 また、市内観光施設から自転車による周遊を図るため、レンタサイクル事業に取り組み、次年度から全 市展開を図る。
課題	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベント出展数が減少している。今後オンライン観光など自宅でも 伊達市の魅力をPRできるような仕組みづくりが必要。 本市の魅力を体験できる自然や農業、産業を活かした体験型観光の充実を図る必要がある。
対 策	アフターコロナを見据え、オンライン観光や市内周遊の取り組みを拡充・連携させる。 果物狩り体験やイノ革体験、鉄道運転体験などの官民連携した体験型観光の充実を図る。

_【評価結果】

総合評価維持	今後の事業全体 の方向性やその 内容	観光事業
--------	--------------------------	------

事務事業マネジメントシート 令和03年度

部 長 課長 係 長 担当者

事	事務事業名 観光誘客促進事業							担	担当課産業部商工観光課						
政	政	策	3	地域の	魅力	が光	軍く	まちづくり	担	担当係 観光物産係					
策体	施	策	3	集客資源の創出と充実						事業期間 H27 ~					
系	基本	事業	1	1 地域資源を活かした魅力の向上						市単独事業・国県補助事業 市単独事			単独事業		
	予算科目 -			会計	款	項	目	大事業	区分	実施形態		Į.		_	·部委託
			算科目 一般会計 7 1 4 観光物産振興事業費		観光物産振興事業費										

【PLAN(計画)】

		<u>'' ' PI EI / </u>	4											
目指	最	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の を市内へ引き込む	の多彩な地域資	源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費									
すべき	終	基本事業 の目的		豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引き出 した本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進する。										
- 状態・アウ	中間	①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	市民・市への来訪予定 者・来訪者	伊達市に興味や関心を持ち観光に来訪する										
ソトカム	初期	②①にな るために 必要な状 態	・魅力あるイベント等を打	是供し、市内に	観光客を誘客する。									

	区分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数值区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
l _t ⊵	マウレブルし指揮	観光入込客数	人	目標値	750, 000	750, 000	2, 220, 000	1, 997, 000	2, 000, 000	2, 017, 000
118	ノットフット 担保	凯儿八匹合奴		実績値	662, 370	2, 231, 986	1, 943, 314	1, 707, 811	1, 840, 557	
1==	고스 (국) 16세	イベント参加数(PRの場)	□	目標値	25	30	32	32	18	18
1示	ノントノット191条	イベント参加数(PRの場)		実績値	29	32 31 18			10	
				目標値						
				実績値						

【DO(実施)

本市の観光資源を磨き上げ、多くの来訪者に本市の魅力を知ってもらうとともに、新たな観光誘客事業を行う。

業

ア

ゥ

1

プ ۲

活 概 動 要

令和03年度実績(実施した主な活動)

- ・伊達市へのマイクロツーリズム(主に仙台圏からの短期宿泊旅行、日帰り旅行)需要を喚起するため、仙台タ ウン誌や県内タウン誌に観光PR記事を掲載
- ・伊達市観光PRアニメ「政宗ダテニクル」公式SNSによる情報発信

活 ッ 動

・アニメ聖地を活用した回遊性向上事業として、聖地を訪れた際にアニメキャラクター等と写真撮影ができる 「ARダテニクル」アプリの構築

現状把握

た理由

根拠法令・要綱等

関連する個別計画

状 事務事業の現状 (「対象」など事 1 業開始からの変 化)

名峰霊山や伊達家ゆかりの歴史資源を活用した観光誘客を行ってきたが、平成27年アニメを活用 したアニメツーリズムにも取り組んだ。

│コロナの影響からアフターコロナを見据えた観光誘客事業が必要。

ソー											
					年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
`					単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金		千円	0		0	0	0	0
1	事	別源	都道府県支	出金	千円	4, 800	5, 278	6, 034	0	0	0
	業		地方債		千円	0		0	0	0	0
		訳	その他		千円	0		0	0	0	0
	貝	76	一般財源		千円	27, 495	9, 181	3, 794	3, 617	2, 332	2, 332
			事業費計		千円	32, 295	14, 459	9, 828	3, 617	2, 332	2, 332

事務事業	1760	事務事業	観光誘客促進事業	所属	産業部商工観光課
I ID	1700	名	既儿礽合伙连尹未	課	性未印向工能儿妹

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	東北中央自動車道の全線開通により宮城県からの来訪者増加を見込み、宮城県内の情報誌を活用し、 伊達市の観光PRを図った。 また、政宗ダテニクルを活用したARアプリの構築を図り、市内の観光スポットを活用した回遊性向上に取り組んだ。
課題	新型コロナにより県外往来ができない。
対 策	コロナ禍においても伊達市の魅力を発信するオンライン観光やVRアプリの取り組みを拡充し、アフターコロナを見据えた取り組みを実施する。

_【評価結果】

総合評価維持	今後の事業全体 の方向性やその 内容	・「伊達市ぐるっとパスポート」「サイクルツーリズム」「ARダテニクルアプリ」といった市内回遊事業の取り組みを連携し、観光客を回遊させる。・関係する「観光でにぎわう魅力づくり事業」との統合を今後検討していく必要がある。
--------	--------------------------	--

事務事業マネジメントシート 令和03年度

部 長 課長 係 長 担当者

事務事業名 観光諸費									担	担当課 産業部商工観光課					
政	政 策 3 地域の魅力が輝くまちづくり								担当係 観光物産係						
策体	策 施 策 3 集客資源の創出と充実							充実		事業	期間	H18		~	
系	基本	事業	1	地域資	活力	いし	た魅力の向上	事業	業			市	単独事業		
	工 質 刮	П	会計 款項目			項	目	大事業	区分	実力	施形態				直営
	予算科目			般会計	7	1	4	観光諸費							

【PLAN(計画)】

		<u>,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, </u>											
目指	最	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の を市内へ引き込む	の多彩な地域資	源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費								
担すべき	終	基本事業 の目的	豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引き出 した本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進します。										
い状態・アウ	中間	①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	観光客	②意図 (どのように なることを目 指すか)	観光拠点を訪れることにより、観光客が増える。								
ソトカム	初期	②①にな るために 必要な状 態	魅力ある観光パンフレッ	ト作成し、市内	外・首都圏へPRする。								

_										
	区分	│ 指 標 名 │ (意図の達成度を表す指標)	単位	数值区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指	マウィブルトナ	観光入込客数	1	目標値	750, 000	750, 000	2, 220, 000	1, 997, 000	2, 000, 000	2, 017, 000
115	וויייייייייייייייייייייייייייייייייייי	¹	^	実績値	662, 370	2, 231, 986	1, 943, 314	1, 707, 811	1, 840, 557	
標	アウトブットは	i標 イベント参加数(PRの場)		目標値	25	30	32	32	18	18
177	7 7 1 7 7 1 3	1、フト参加致(FRの物)	ī	実績値	29	32	31	18	10	
				目標値						
				実績値						

【**DO(実施)**】

事 市の観光名所や特産品を県内外の方々にPRするため、観光パンフレットの作成や姉妹都市イベントに参加す業。る。

活概 動 要

ア

ゥ

動 令和03年度実績(実施した主な活動)

- ・伊達市観光パンフレットや霊山登山マップ等を配布することでPR活動を実施した。
- ・令和3年4月に相馬福島道路全線開通後の域内周遊促進のため、道の駅レンタサイクル等を起点とした相馬福島道路沿線地域の立ち寄りスポットや観光施設などを掲載したサイクリングマップを作成し、観光誘客を図っ な活

【現状把握】

_											
		事務事業を開始し た理由	5町が	合併し伊	達市が誕生し	た平成18年	から、当市の	魅力を全	国に発信	するために開	始された。
		根拠法令・要綱等					関連する個	別計画			
	現状・インプッ		新型:					トや県外征	主来が難	しいことから、	新たな観光誘
ı				年度	29年度	30年度	01年度	02年	F度	03年度	04年度

				年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
۲				単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金	千円	0		0	0	0	0
	事	酒	都道府県支出金	千円	0		0	0	0	0
	業	内	地方債	千円	0		0	0	0	0
	費	訳	その他	千円	0		0	0	0	0
	艮	小	一般財源	千円	6, 802	5, 657	5, 638	5, 297	5, 061	5, 061
			事業費計	千円	6, 802	5, 657	5, 638	5, 297	5, 061	5, 061

事務事業	1743	事務事業	観光諸費	所属	産業部商工観光課
I ID	1740	名	N.J. Charles	課	/

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	伊達市観光パンフレットは複数あり、入込客数の増加に伴い、印刷部数も伸びている。 また、多言語パンフレットの配布も開始している。
課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、観光イベントや県外往来が思うように出来ない。
対 策	観光DXの推進や多様な媒体による観光情報発信など戦略的な情報発信を強化し、アフターコロナを見据えたオンライン観光の取り組みを強化する。

【評価結果】

総合評価維持	今後の事業全体 の方向性やその 内容	観光という目線だけではなく、「伊達市」を全国へPRするためにも、効果的なPR方法の検討を進める。
--------	--------------------------	--

事務事業マネジメントシート 令和03年度

部 長 課長 係 長 担当者

事	事務事業名 霊山こどもの村管理・施設整備事業								担	担当課 未来政策部霊山総合支所				
政 政 策 3 地域の魅力が輝くまちづくり								まちづくり	担	担当係地域総務係				
体	策 施 策 3 集客資源の創出と充実						充実		事業	期間		~		
系	基本	事業	2	観光客	の受	:入位	‡制(の充実	事業	市単独事業・国県補助事業市単			単独事業	
	会計 款 項 目 大事業					大事業	区分	実力	施形態	Į.	指	定管理		
	了异的	算科目 一般会計 3 2			2	4	霊山こどもの村管理費							

<u>【PLAN(計画)】</u>

市 田	最	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の を市内へ引き込む	の多彩な地域資	源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費		
担すべき	19						
U 状態・アウ	中間	①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	こどもの村来園者	①意図 (どのように なることを目 指すか)	施設を利用し体験活動を楽しむ。 こどもの村自主事業(ワークショップ)に参加し、物事への関心を深める。		
ソトカム	初期	②①にな るために 必要な状 態	こどもの村園内の施設をほこどもの村への来園者に		つ、子どもの健全育成に役立てる。		

_												
		区分	分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
Ι.	指	マウトカル	, tらt車	来園者数(人)	1	目標値	21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	21, 000
	18	7.71.71	→ 1H 1示	木图 有 奴(八)	_ ^	実績値	29, 224	29, 795	27, 896	17, 957	24, 151	
Ι,	標	アウトプッ	L +15-148	自主事業(ワークショップ)参加	1	目標値	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000
ľ	1示	7.717.7	に担保	者数	_ ^	実績値	9, 928	7, 801	7, 822	8, 045	9, 895	
		·				目標値						
						実績値						

【DO (実施)】 事 ◎霊山こどもの村にかかる管理および整備 業

指定管理料 施設修繕費

活 概 動 要

ァ ゥ

۲

令和03年度実績(実施した主な活動)

「りょうぜん振興公社」と平成31年度基本協定を締結し委託料の支払・施設の維持管理修繕・指定管理者との 連絡調整を行った。 な

指定管理により霊山こどもの村の適正な管理を行った。

活 ッ 動 ۲

【現状把握】

	霊山という自然環境の豊かなところで、こどもたちにのびのび楽しんでもらうために昭和47年に施
事務事業を開始し	設整備を図り、充実拡張に努力をしてきた。子ども育成に貢献している。
た理由	

根拠法令・要綱等

関連する個別計画

現 状 事務事業の現状 (「対象」など事 1 業開始からの変 化) プ

県立自然公園の中で、子どもたちを遊ばせることができ、小学校の野外学習などにも利用されている。原発事 故による放射能の影響で来園者が極端に減少したが回復基調にある。小さな子どもを連れて行くにはまだまだ 不安があるとの声もいまだ大きい。

開設以来46年を経過していることから子どもたちを受け入れる施設の老朽化が目立つ。霊山高原構想のスタートアップ事業として「子どもの物語ミュージアム」建設を進めてきたが議会の反対によりリニューアルに 転換した。

· 10				14350							
					年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
ן דו					単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0
	事	源	都道府県支	出金	千円	0	0	0	0	0	0
	業	内	地方債		千円	0	0	0	0	16, 900	12, 600
		訳	その他		千円	56	56	8	6, 933	3, 178	18, 514
	貝	小	一般財源		千円	27, 062	26, 920	31, 477	32, 244	21, 416	24, 632
	Ī		事業費計		千円	27, 118	26, 976	31, 485	39, 177	41, 494	55, 746

事務事業	1457	事務事業	霊山こどもの村管理・施設整備事業		未来政策部霊山総合支所
l ID I		名		課	

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	りょうぜん振興公社に指定管理により管理を委託して、霊山という自然環境を活用し、施設管理や事業を実施することにより効率的に運営されている。
課題	①事業評価については、理事として支所長が遂次運営を評価しているものの事業評価書として書類上の 点検確認及び次年度への反映がされていない。 ②開設以来47年を経過していることから施設の老朽化が目立つ。
対 策	①事業評価について、マニュアルを作成し実施する。 ②園内施設の適切な修繕管理を行う。

【評価結果】

総合評価維持	今後の事業全体 の方向性やその 内容	
--------	--------------------------	--

事務事業マネジメントシート 令和03年度

部 長 課長 係 長 担当者

1	事務事業名 りょうぜん紅彩館運営事業					担	担当課 未来政策部霊山総合支所								
	政 政 策 3 地域の魅力が輝くまちづくり					担	当係 地域総務係								
策体	施 策 3 集客資源の創出と充実					事業	事業期間 ~								
系	基本	*事業	2 観光客の受入体制の充実				‡制(の充実	事業	市単独事業・国県補助事業			事業	市	単独事業
	圣 質利日		会計 款 項 目		目	大事業		実力	施形態			指	定管理		
	予算科目		_	般会計	7	1	4	りょうぜん紅彩館管理運営費							

【PLAN(計画)】

		<u>'' \ PI E / </u>	4									
目指	最	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の を市内へ引き込む	の多彩な地域資	源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費							
すべき	終	基本事業 の目的	** 市民を含めた多様な主体との連携により、地域ぐるみで観光客を温かくもてなす体制の充実を図ります。									
U 状態・アウ	中間	①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	りょうぜん紅彩館の利用 者	①意図 (どのように なることを目 指すか)	りょうぜん紅彩館の利用客に満足してもらう							
ソトカム	初期	②①にな るために 必要な状 態	の来客の増加も期待できる	-								

	区分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指	アウトカム指標	利田老粉	1	目標値	13, 000	13, 000	13, 000	14, 000	14, 000	14, 000
18	ノフトカム田標	利用有数	_ ^	実績値	12, 754	13, 738	12, 820	9, 296	12, 329	
標	マウトカノ指揮	市外からの宿泊者数	ı	目標値	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000
1示	アプトガム指標		_ ^	実績値	1, 495	1, 371	1, 058	343	588	
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)

事りょうぜん紅彩館の管理及び施設修繕

業 1. 紅彩館指定管理料

活 概 2 施設修繕費

動 要

ア

ゥ

ッ 動 1

「令和03年度実績(実施した主な活動)

「りょうぜん振興公社」と平成31年度(令和元年度)から令和3年度までの基本協定締結を行い、年度協定を 締結し委託料の支払・施設の維持管理修繕・指定管理者との連絡調整を行った。

指定管理によりりょうぜん紅彩館の適正管理と地域物産の展示販売を行うとともに、紅彩館のPRと利用者の拡大 な を図った。 活

【現状把握】

霊山に観光や登山に来て、麓に宿泊休憩施設がなかったことから、平成12年に施設の整備を図っ 事務事業を開始し│た。地元農産物の宣伝販売、農業体験、自然資源を活用して都市との交流を図ることを目的として た理由 建築した。

根拠法令・要綱等

関連する個別計画

状 事務事業の現状 (「対象」など事 1 業開始からの変 化) プ

地元の同級会や登山後の入浴ができることで喜ばれている。シーズン中の予約希望に対し、客室が 少ないため対応できない。放射線の影響と風評被害で一般客の利用者は激減したが現在は回復基調 |にある。施設老朽により頻繁な修繕を行っている。

·ν,											
Ĺ					年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
17					単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0
	事	源	都道府県支	出金	千円	0	0	0	0	0	0
	業	内	地方債		千円	0	0	0	0	15, 100	12, 800
	費	訳	その他		千円	0	2, 484	0	2, 860	5, 300	0
	湨	叭	一般財源		千円	22, 594	22, 445	28, 379	27, 417	12, 613	20, 494
			事業費計		千円	22, 594	24, 929	28, 379	30, 277	33, 013	33, 294

事務事業	1764	事務事業	りょうぜん紅彩館運営事業	000	未来政策部霊山総合支所
I ID	1704	名	りよりに心性が助圧当事未	0000	个人以来印盖田心口 人 的

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	りょうぜん振興公社に指定管理により管理を委託して、霊山という自然環境を活用し、施設管理や事業を実施することにより効率的に運営されている。
課題	①事業評価については、理事として支所長が遂次運営を評価しているものの事業評価書として書類上の 点検確認及び次年度への反映がされていない。 ②開設以来19年を経過していることから施設の老朽化が目立つ。また、利用者は高齢化が目立ち食事ス タイルも椅子利用を要求されていることからその対応が喫緊の課題である。
対 策	①事業評価について、マニュアルを作成し実施する。 ②老朽箇所の再確認とともに先回り修繕化を行う。高齢用者に対応できる椅子と机を導入する。

_【評価結果】

総合評価 糸	今後の事業 住持 の方向性や 内容	やその 設であり、今後とも継続して管理運営に努める	0
--------	-------------------------	---------------------------	---

事務事業マネジメントシート 令和03年度

部 長 課 係 担当者 長 長

事	事務事業名 道の駅管理運営事業						担	担当課 産業部商工観光課																	
政	政	策	3	地域の	也域の魅力が輝くまちづくり					当係 観光物産係															
策体	施	策	3	集客資	源の	創出	<u>ا</u> ح ا	充実		事業	期間	平成30年	度	~											
系	基本	事業	2	観光客の受入体制の充実					事業	市单	单独事	業・国県補助	事業	市	単独事業										
	予算科目		予算科目		予算科目		予算科目		子質利日		고 쏨 된 ㅁ			会計	款	項	目	大事業	区分	実力	施形 態	ę,		指	定管理
									_	般会計	7	1	4	道の駅管理運営事業											

【PLAN(計画)】

		<u> </u>									
目指すべき	最終	施策の目 的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費 を市内へ引き込む								
		基本事業 の目的	市民を含めた多様な主体との連携により、地域ぐるみで観光客を温かくもてなす体制の充実を図りま す。								
き状態・アウ	中間	①対象 (誰、何 に対して 行 う か)	道の駅利用者	②意図 (どのように なることを目 指すか)	道の駅で伊達市内の特産品を購入したり、飲食をする。 道の駅を観光のハブとし、市内の観光拠点を訪れる。						
ソトカム	ウ ②①にな ト ②①にな カ 初 るために 指定管理者である一般社団法人りょうぜん振興公社を中心に										

	区	分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指	£	道の駅来客数	1	目標値	45, 000	540, 000	1, 510, 000	1, 290, 000	1, 303, 000	1, 316, 000	
115	17.51.5	ン 1・1日1米	担の駅木合数		実績値	77, 936	1, 503, 342	1, 261, 694	1, 197, 874	1, 309, 990	
標	· ·	出店・納品者数	1	目標値	220	220	230	240	240	240	
15	17.717	アソトノット担保	山冶:柳如伯数	_ ^	実績値	225	225	240	248	260	
					目標値						
					実績値						

【DO(実施)

ア

ゥ

現

1

プ

- 般社団法人りょうぜん振興公社が指定管理者となり道の駅「伊達の郷りょうぜん」を運営しており、市と協 業定を結んでいる。

- 道の駅は、24時間利用できる駐車場・トイレなどの「休憩施設機能」の他、レストランや市の物産の販売やイ 活 ベント等を行い市の特色や個性をPRしている。 令和03年度実績(実施した主な活動) 要

- 来場者400万人達成記念セレモニー (4/5)

桃狩り体験

宮城県 楽天スタジアムでの物販(8/22)

・秋の味覚フェア開催・姉妹都市松前町まぐろ市同時開催 (9/18~9/20) 活

・秋の味覚(宮城県女川町特産品)フェア(11/6・7)

動 · 来場者500万人達成式典 (12/4)

・あんぽ柿・伊達市6次化商品PR 出張販売 (12/18・19宮城県利府町 イオン新利府店)

・4周年フェア(319~3/21)

【現状把握】 | 相馬福島道路を活用した賑わいの拠点づくり

事務事業を開始し た理由	1日前田田足町で17mの12mm170・07pg点 グイザ	
	地方自治法第244条の2第3項	

手続等に関する条例

根拠法令・要綱等伊達市公の施設の指定管理者の指定の 関連する個別計画

状 事務事業の現状 (「対象」など事 業開始からの変 化)

想定入込客数は年間54万人としていたが、H30年3月の事業開始後から190日目で100万人を突破 し、H30年度の実績は150万人を超えた。R元年度は126万人利用、R2年度は新型コロナ禍での臨時 |休業や短縮営業を余儀なくされたが、前年度並みの119万人利用となった。

ו עי											
Ĺ					年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
ן דו					単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)
		財	国庫支出金		千円			0	0	0	0
	事	源	都道府県支	出金	千円			0	0	0	0
	業	办	地方債		千円			0	0	0	22, 300
	費	訳	その他		千円		4, 104	1, 888	1, 900	1, 700	1, 700
	貝	叭	一般財源		千円		74, 693	64, 761	62, 749	56, 550	36, 086
			事業費計		千円	_	78, 797	66, 649	64, 649	58, 250	60, 086
_										'	,

事務事業	2583	事務事業	道の駅管理運営事業	所属	産業部商工観光課
I ID	2000	名	追り駅官垤建呂争未 	課	性未即問工既兀誅

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	道の駅伊達の郷りょうぜんは、年間120万人以上が利用する本市を代表する集客施設となり、市内観光周遊や地域の賑わいの拠点、市産品のPR・販売の場として定着した。指定管理者においても、地域との連携イベントや季節ごとのイベント、商品開発などを積極的に行って誘客に努めている。本年度、新型コロナウイルス感染症の拡大や福島県沖地震により、臨時休業を余儀なくされたが、味覚フェアや4周年記念フェア等を実施し入れ込み客数増加の推進に努めた。	
課題	令和3年4月の相馬福島道路全線開通に伴い、「道の駅に立ち寄ってもらう」ための仕掛けづくりを検討する必要がある。 道の駅を市内回遊の拠点として、相馬福島道路を活用した市内回遊、滞在時間の延伸、観光消費の拡大に繋げるかが課題。	
対 策	今後は道の駅における取組の強化が必要であり、新商品の開発や交流都市並びに他の道の駅とのネットワークを活用した物販の強化、季節ごとのイベントの充実、さらには、いちご狩り体験や桃狩り体験などの体験メニューなどの伊達の郷りょうぜんの強みを積極的にPRし、全線開通後の利用者増加を図っていきたい。	

【評価結果】

T P I I I I I I I I I I I I I I I I I I			
総合評価	維持	今後の事業全体	・道の駅オリジナルの商品開発。 ・いちご狩り体験や桃狩り体験などの体験メニューの実施による本市への観光誘客と魅力発信のPRを実施。 ・交流都市等と連携したイベントの実施 ・道の駅からの市内周遊や滞在時間の延伸につながる仕掛けとして、レンタサイクル実施や観光周遊手帳の利用促進に取り組む